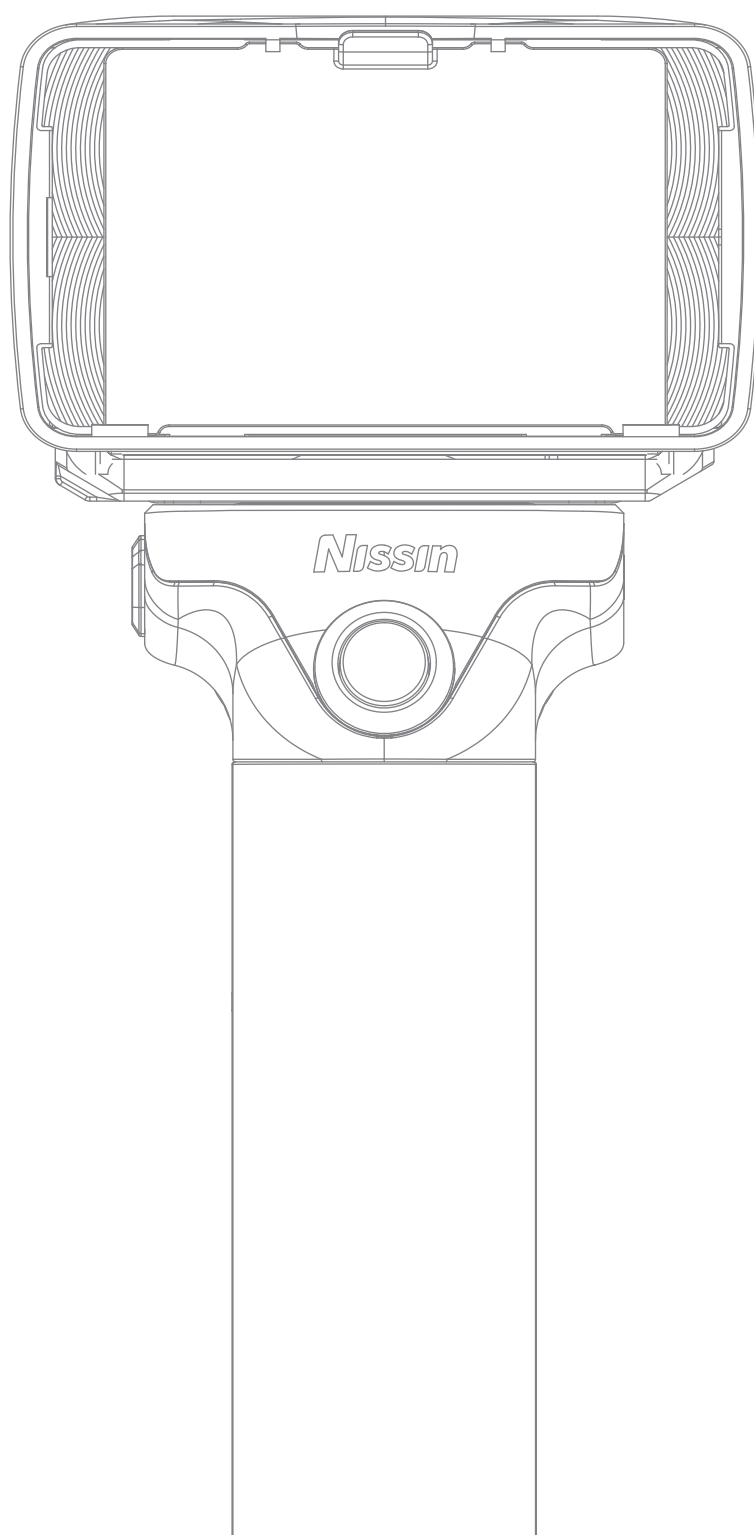


**Nissin**  
DIGITAL

**MG10**

取扱説明書



ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

## 対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、

<http://www.nissin-japan.com>でご確認ください。



ニッシンエアシステム(NAS)はニッシンストロボと  
ニッシンコマンダー専用設計されたシステムです。



- 2.4GHz帯 (ISMバンド) ※技術基準適合認定取得済み
- 使用可能範囲: 最長100m (使用環境によって異なります)
- 金属、ケーブル類、壁、2.4GHz帯を使用する他の機器などによって、NASの使用可能範囲が制限される場合があります。

## 製品保証について

本製品はメーカー保証が適用されますので製品添付の保証書を大切に保管してください。なお、本製品のアクセサリは消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

# 安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守り下さい。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物理損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



## 警告

- 本機は高電圧の部品を使用していますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社サービスステーションかまたは、ご購入されたお店にお持ちください。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび揮発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。
- 運転中の自動車やバイクに直接フラッシュをたかないで下さい。
- 発光面を人の身体に近づけて発光しないでください。怪我する恐れがあります。
- バッテリーは正しくセットして下さい。電極を間違えると液漏れや発火、爆発の原因になります。



## 注意

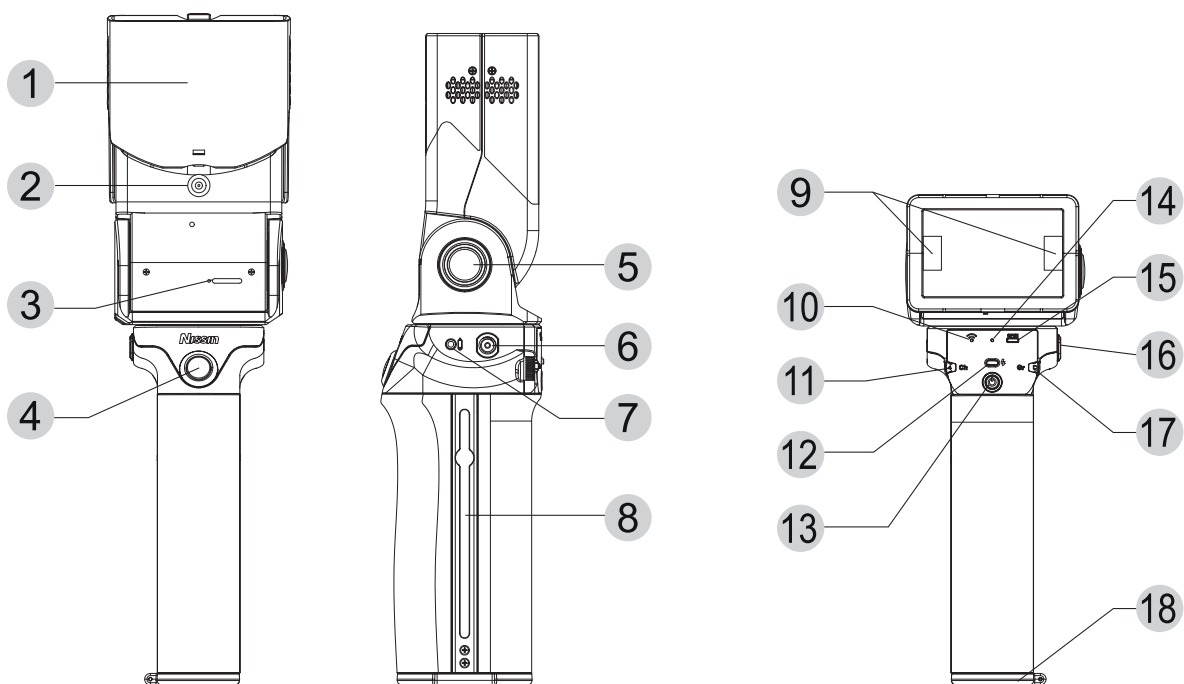
- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 連続発光後は本体（特に発光パネル部）や電池が熱くなっていますので、火傷にご注意ください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。
- 強い衝撃を与えたり、床に投げつけたりしないで下さい。



## その他の注意

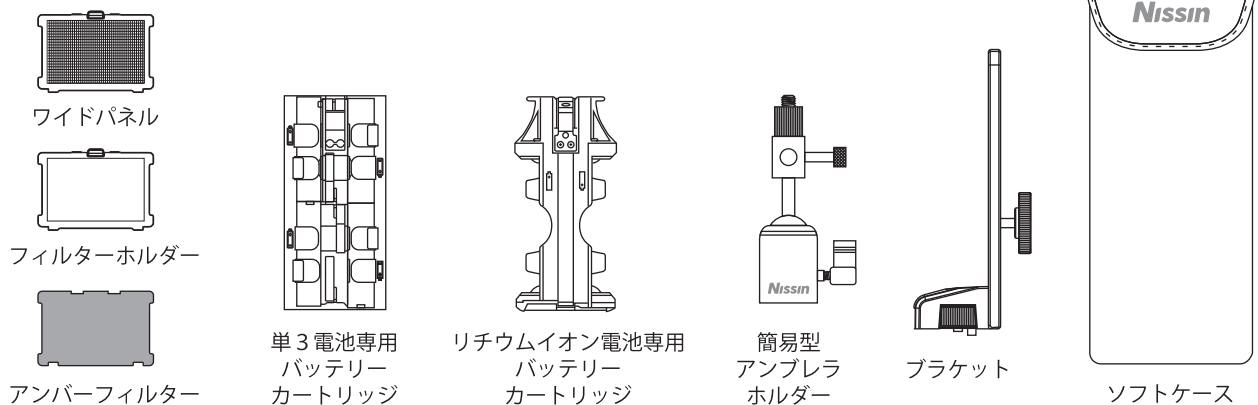
- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

# 各部名称



- 1 ズームカバー
- 2 シンクロターミナル
- 3 マイクロSDカードスロット  
(ファームウェアアップデート用)
- 4 ワイヤレスリモートシャッター
- 5 バウンスロックボタン
- 6 三脚ねじ
- 7 リモートシャッターケーブルソケット (2.5mm)
- 8 サイドレール
- 9 モデリングライト
- 10 N A S 接続確認ランプ
- 11 チャンネルダイヤル
- 12 パイロットランプ
- 13 電源ボタン
- 14 リモートシャッター接続確認ランプ
- 15 オープンモードボタン
- 16 外部電源用ソケット
- 17 グループダイヤル
- 18 電池蓋

## ● アクセサリー



※アクセサリは消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

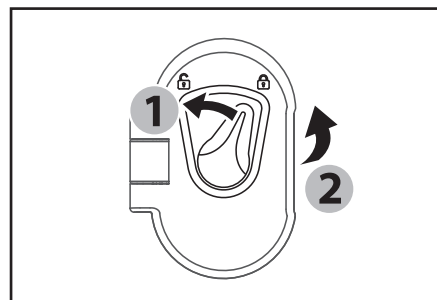
# お使い頂く前に

## ワイヤレスストロボ撮影を始める前に

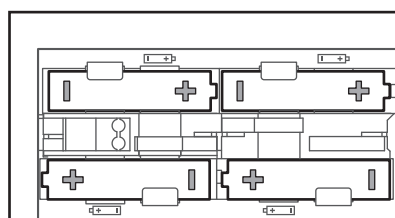
### 電池を入れてください

アルカリ電池、リチウム電池、ニッケル水素充電電池、リチウムイオン充電電池のいずれかをご使用ください。

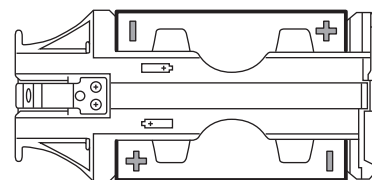
1. 電池蓋を開けてください。



2. 8本（リチウムイオン充電電池の場合は2本）の電池を図のように入れてください。



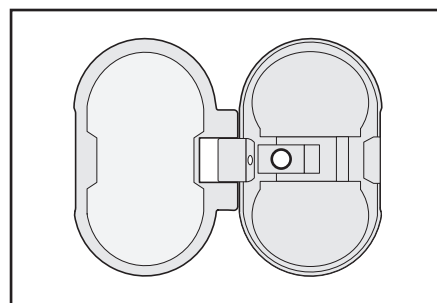
単3電池は8本



リチウムイオン充電電池は2本

※動作確認済電池はニッシンジャパンホームページの製品情報でご紹介しています。

3. 図と同様に、ドットが見えるようにバッテリーカートリッジを入れて蓋をしてください。



### ⚠ 注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、すべて同時に充電した電池を使用してください。

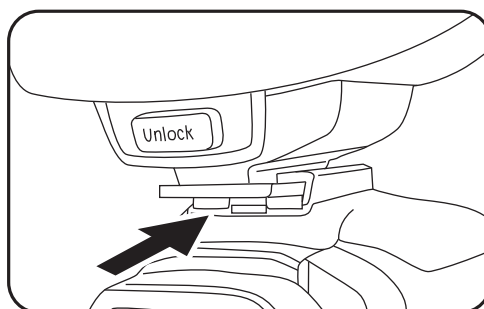
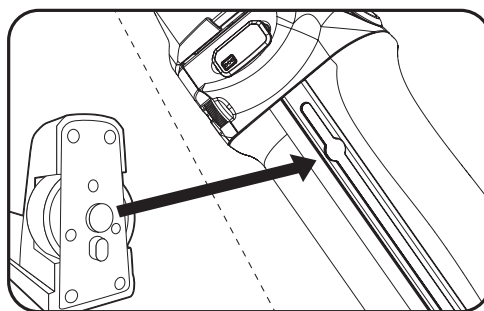
### ⚠ 重要

リチウムイオン充電電池は**必ず保護回路付き**のものをご利用ください。保護回路のない充電電池は絶対に使用しないでください。  
なお、リチウムイオン充電電池をご利用になる場合は必ず22～24ページの「リチウムイオン充電電池の使用について」をお読みください。

## 基本操作

### MG10をカメラに取り付けるには

1. MG10の電源を切ってください。
2. ブラケットの端をMG10のサイドレールに差し込んでブラケットのネジを締めます。
3. カメラをブラケットに装着し、しっかりネジを締め付けます。
4. Air10sをホットシューに差し込みます。



### MG10をカメラから外すには

1. MG10の電源を切ってください。
2. ブラケットのネジを緩めます。

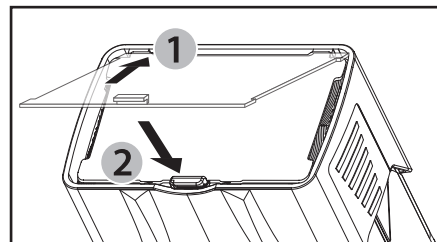
#### ❗ 注意

Air10sを掴んでカメラシステム全体を持ち上げないで下さい。Air10sの取付足が破損する恐れがあります。

# ズームカバーとワイドパネル

## ワイドパネルとフィルターホルダーとズームカバーの使用方法

1. MG10の電源を切ります。
2. ズームカバーとワイドパネル、またはフィルターホルダーの間にフィルターを差し込みます。
3. ワイドパネルまたはフィルターホルダーを①へ差し込みます。
4. ワイドパネルまたはフィルターホルダーを②の方向に押して蓋をします。
5. ワイドパネル使用時は、MG10の電源を入れ、コマンダーで照射角を24mmに設定します。



## ズームカバーの外し方

1. MG10の電源を切ります。
2. ズームカバーを前方いっぱい引き出し、少しだけ(数mm)戻し、爪を①の方向に持ち上げて②の方向にスライドさせます。(図.1)
3. 49×72mmのヘッドは標準的なストロボマウントアクセサリーのほとんどに適合します。(例:図.3)

図.1

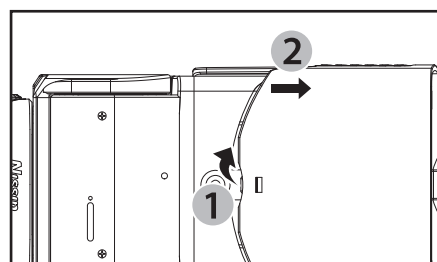


図.2

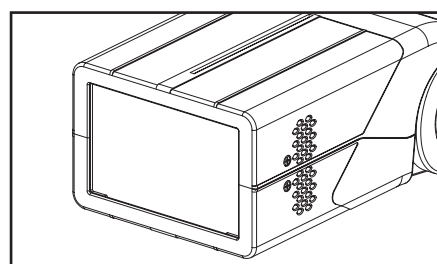
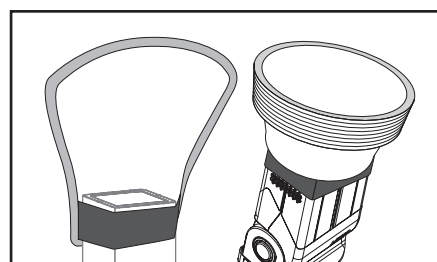


図.3



### ❗ 注意

ズームカバーを外す時は、中の発光面が高温になっている場合があります。火傷の危険性がありますので絶対に直接手で触らないでください。

# ニッシンエアシステム ワイヤレスストロボ撮影

## ペアリングの設定について

ワイヤレス撮影を行うにはAir10sコマンダーとスレーブユニットを以下の手順で設定します。電源を切ったり電池を抜いてもペアリングしたデータは記憶されます。

**【ステップ1】**：全てのNASストロボとNASレシーバーをペアリングモードに設定します。

### MG10の設定

1. MG10の電源を切ります。
2. 「Ch」チャンネルダイヤルを「Auto」オートチャンネルモードに切り替えます。
3. オープンモードボタンと電源ボタンを同時に3秒以上（ビープ音が鳴り始めるまで）長押しします。

**【ステップ2】**：コマンダーのペアリング

### Air10sの設定

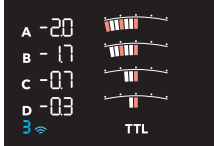
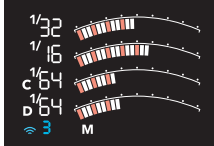

1. Air10sの電源をオフにします。
2. パイロットランプがオレンジ色に点滅するまでパネルロックボタンと電源オン/オフボタンを同時に3秒以上長押しします。
3. MG10の「ビープ音」はペアリング信号が受信されるまで鳴り続けます。音が止まればペアリングは終了です。



## 基本グループとアドバンスグループ

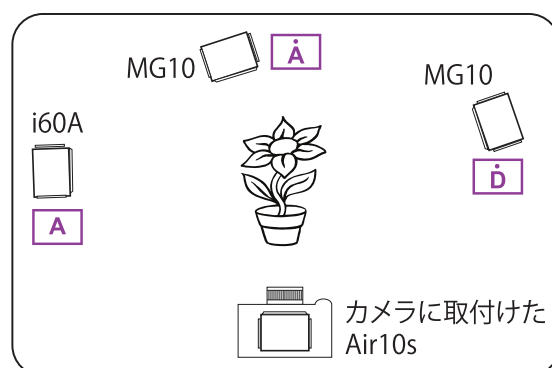
Air10sは基本グループとアドバンスグループに分かれて操作ができます。台数に制限なくペアリングでき、両グループ同時に使用可能です。

異なるNASストロボも同時に使用可能です。

<b>基本グループ</b> <b>A B C D</b>	 TTL モード	 マニュアル モード
<b>アドバンスグループ</b> <b>À Ò Ó Ò</b>	 マニュアル/TTL モード	

### 【例】:

基本グループ**A**のマニュアル調光モードでi60Aを使い、TTLとマニュアル調光モードで2台のMG10をアドバンスグループの**À**および**Ò**で使用できます。



## グループ設定

MG10は8つの異なるグループで操作できます。これら8つのグループを違う形で設定することができます。撮影する前に各ストロボを8つのグループいずれかに設定する必要があります。

### MG10の設定



を回してモードダイヤルをグループ設定して変更して下さい。 **A** / **B** / **C** / **D** / **À** / **Ò** / **Ó** / **Ò**

### Air10sの設定






を1秒間長押しすると、基本グループとアドバンスグループを切り替える事ができます。

## オープンモード (Air10sでのみ動作します)

NASはストロボに接続するための独自のID機能を使用しています。同じ場所、同じチャンネルで使用しても他のNASコマンダーの影響を受けません。NASストロボまたはNASレシーバー (AirR) に搭載されたスレーブユニットはペアリングしているNASコマンダーからのみ操作できます。一方、MG10はペアリングなしで複数台のNASコマンダーを接続できる「オープンモード」(Air10Sでのみ動作) を搭載しています。オープンモードを利用すると、2台以上のカメラを同時に使用できます。

### オープンモード設定

1. MG10のオープンボタンを押してMG10のオープンモードを切り替えます。  
オープンボタンの点灯はオープンモードがオンであることを示しています。
2. Air10sの  を 1 秒間押し続け、オープンモードがオンになればLCD表示  の上に「OPEN」という文字が表示されます。  
オフにする場合は  を 1 秒間押してください。

## ワイヤレスリモートシャッター

Air10sとペアリングされたMG10ではワイヤレスリモートシャッターが使用できます。

※リモートシャッター機能を使用する場合、シャッターを操作するMG10の光量はアドバンスグループのAグループで調整してください。

### Air10Sと一緒に使用するには

1. Air10Sをカメラのホットシューに差し込みます。
2. リモートシャッター用ケーブルをAir10sとカメラの間に接続します。
3. MG10のグループダイヤルを「◎」  にしてワイヤレスリモートシャッターを使用します。

## 光量調整

MG10はAir10sのようなNASコマンダーを搭載した無線モードでのみ使用が可能です。

NASコマンダーを使用することで様々な露出設定機能を制御できます。

(有線シンクロ撮影については14ページを参照してください)

### TTL調光モードとマニュアル調光モードの切替

基本グループモードでは： ボタンを押します。

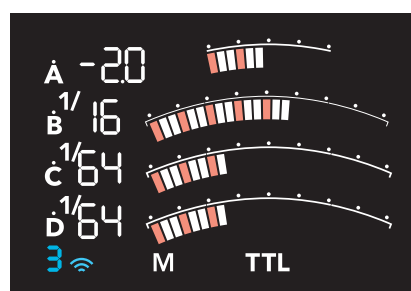


アドバンスグループモードでは：

各グループで異なる露出に設定するには、

1. グループ選択ボタンを押します。

選択したグループが点滅したらM/TTL  
モードボタンを押して調光モードを変  
更します。



2. 露出設定が完了したらグループ選択ボタンをもう一度押して点滅を停止します。

### ❗ 注意

ニッシンAir10sのTTL調光モードは適合確認済みカメラのみサポートします。

# 光量調整

## TTLモード

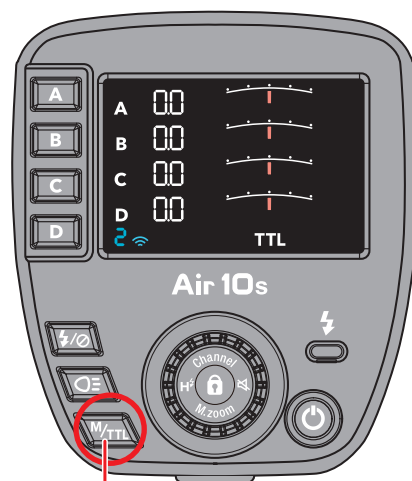
液晶画面下部に「**TTL**」と表示されます。TTLは発光量を自動調節するモードで、調光補正により微調節ができます。

補正值はセレクトダイヤルを回して1/3EVステップ刻みで調節できます。暗くしたいときは一方向に、明るくしたいときは+方向に回してください。

**調光補正範囲：-2EV～+2EV**

### 調光補正の仕方：

1. 「モードボタン **M/TTL**」を押して **TTL** モード画面に切り替えます。
2. 変更するグループのボタンを押して、グループ表示を点滅させます。
3. セレクトダイヤルを回すと補正值が 1/3EV ステップで切り替わります。
4. 暗くしたいときは一方向に、明るくしたいときは+方向に回してください。
5. 決定ボタンを押さなくても、設定値はリアルタイムに反映されます。
6. 設定を終了するときには、もう一度グループボタンを押して、グループ表示を点灯してください。



モードボタン

# 光量調整

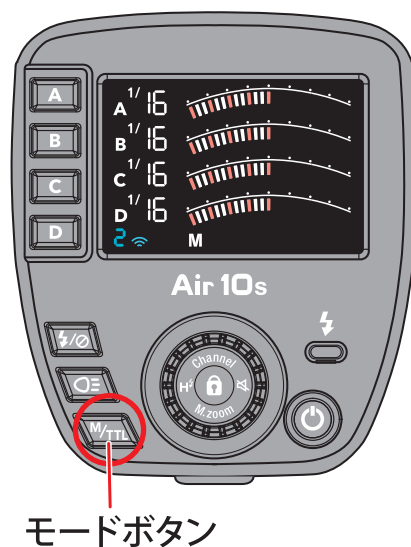
## M (マニュアル) モード

液晶画面下部に「**M**」(マニュアル)と表示されます。**M** (マニュアル) モードは発光量を手動調節するモードです。セレクトダイヤルを回すと発光量が 1/3EV ステップ刻みで変えられます。光量は 1/1 が最大で、分母が大きくなるほど光量は小さくなります。

**調節範囲**：1/256 ～ 1/1 但し、HSS (FP) モードの時は、最小発光量が自動的に 1/32 に制限されます。詳しくは後述のハイスピードシンクロ (HSS) 機能の項目をご覧ください。

## 手動光量調節の仕方：

1. 「モードボタン **M/TTL**」を押して **M** モード画面に切り替えます。
2. 変更するグループのボタンを押して、グループ表示を点滅させます。
3. セレクトダイヤルを回すと発光量が 1/3EV ステップで切り替わります。
4. 明るくしたいときはダイヤルを時計回りに、暗くしたいときは反時計回りに回してください。
5. 決定ボタンを押さなくても、設定値はリアルタイムに反映されます。
6. 設定を終了するときには、もう一度グループボタンを押して、グループ表示を点灯させてください。

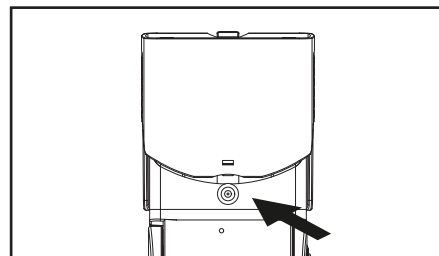


【注】：「アドバンスグループで設定できるモード」については後述します。

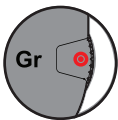
## 光量調整(シンクロケーブル接続)

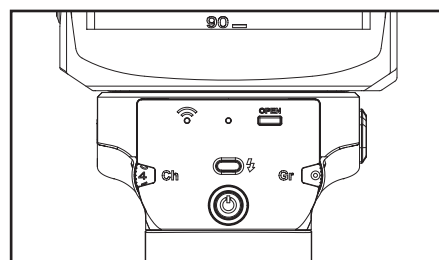
### シンクロケーブルで接続する

1. MG10 とカメラの電源を切ります。
2. カメラと MG10 のシンクロターミナルに市販のシンクロケーブル (両端オス) を差し込みます。



### 光量調整

1. グループダイヤルを廻して「◎」  に合わせます。
2. 下記の表を参考に「チャンネル」ダイヤルを使用して光量を調整します。



Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128	1/256
Ch 8	Ch 7	Ch 6	Ch 5	Ch 4	Ch 3	Ch 2	Ch 1	Ch A

### ❗ 注意

シンクロケーブル接続で使用する時は、MG10とペアリングしたコマンダーの電源は必ずOFFにしてください。  
コマンダーの電源が入っていてMG10のNAS接続確認ランプが点灯している状態では、シンクロケーブル接続では発光しません。

## 照射角(ズーム)の設定

Air10sは、受信側のストロボの照射角(ズーム)を遠隔操作で切り替えられます。照射角は、A(オート)、24、28、35、50、70、85、105、135、200mmにセットできます。

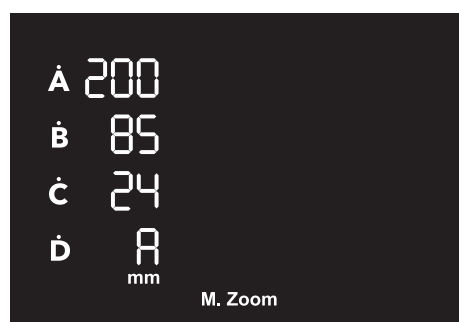
A(オート)にすると、カメラの焦点距離に自動連動するオートズームになります。

(オートズームに設定している場合、MG10のヘッドが正面を向いていない時は50mmに固定されます。下方向に向けた時も50mmに固定されますので、近接撮影時はマニュアルで設定することをお勧めします)

### 照射角(ズーム)の切り替え方：

1. M.zoom ボタンを長押しします。
2. 変更するグループボタンを押して、グループ表示を点滅させます。
3. セレクトダイヤルを回すと照射角が切り替わります。
4. 別のグループを切り替える場合は、上記グループボタンを押して、グループ表示を点灯にし、上記操作(2、3、4)を繰り返してください。
5. 元の画面にすぐに戻るには、

もう一度 M.zoom ボタンを長押ししてください。何も操作しないで放置すると約7秒後に自動的に元の画面に戻ります。



**【メモ】**：照射角の初期値は 24mm です。

リセット (パイロットランプの長押し) を行くと 24mm にセットされます。


：フォーサース用の Air10s を使用する場合は、照射角の値を半分の数値に (12、14、17、25、35、42、52、67、200mm) に読み替えてください。

## モデリングライト




通常のストロボ光の閃光は一瞬です。ストロボ光の効果が分かりやすいようにモデリングライトを使うことができます。

撮る前に定常光を当ててどんな形で灯りが当たるのか想定できます。

### モデリングライトのオン/オフ

1. グループ選択ボタンを押すと文字が点滅します。
2. グループのモデリングをオン / オフに切り替えるには  を押します。
3. 設定が完了したらグループ選択ボタンをもう一度押してください。

### モデリングライトの光量調整

1.  のボタンを押してマニュアル調光モードに変更します。
2.  を押すとモデリングライトが点灯します。
3.  でモデリングライトの光量調整ができます。

#### ❗ 注意.1

TTL 調光時、モデリングライトは使用できますが光量調整はできません。直前の TTL 調光の発光量に応じて光量が変わります。(直前にストロボが明るく発光した場合はモデリングライトも明るく光り、ストロボが暗く光った場合はモデリングライトも暗く光ります。)

#### ❗ 注意.2

モデリングライトは MG10 本体内の電池から電力が供給されるため、ストロボの最大発光回数は減少します。また、ストロボの充電中はモデリングライトが一時的に暗くなることがあります。なるべく暗くさせたくない場合は外部電源をご使用ください。



### ❗ 注意 .3

MG10に外部電源を接続しても、モデリングライトの電源はMG10本体内の電池から供給されるため、モデリングライトを使用すると本体内の電池が早く消耗します。モデリングライトの明るさが暗くなってきた時は本体内の電池を交換してください。

### ❗ 注意 .4

グループ選択ボタンを押さないとディスプレイのグループ文字が全て点滅しません。モデリングライトボタンを押すと全てのグループのモデリングのオン/オフ機能が反転します。

例えば、A・Cグループがモデリングライト「オン」、B・Dグループがモデリングライト「オフ」の状態グループ選択をせずモデリングライトボタンを押すと、A・Cグループがモデリングライト「オフ」、B・Dグループがモデリングライト「オン」となります。

## ハイスピードシンクロ

MG10は、1/8000 秒のシャッタースピードまで同調するハイスピードシンクロ機能に対応しています。

本機能は、TTL モードでも M モードでも使用できます。

### ハイスピードシンクロを有効にする方法

お使いのカメラの機種により、カメラメニューから切り替える方法と Air10s のボタン操作で切り替える方法と 2 通りあります。

#### ■ カメラメニューの場合（キヤノン、ニコン、富士フィルム）

##### ◎ キヤノン

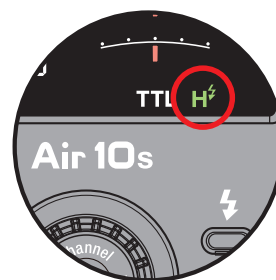
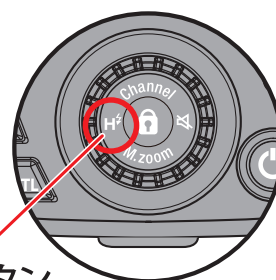
カメラメニューの外部ストロボ機能設定で同調設定をハイスピードシンクロ（HSS）に切り替えてください。

##### ◎ ニコン、富士フィルム

カメラメニューでフラッシュ撮影同調速度をオート FP に切り替えてください。（Air10s の HSS ボタン **H<sup>z</sup>** は機能しません）

#### ■ Air10s の場合（キヤノン、ソニー、フォーサーズ）

1. HSS ボタン **H<sup>z</sup>** を長押しするとハイスピードシンクロモードに切り替わり、液晶画面上に黄色い **H<sup>z</sup>** マークが表示されます。
2. ハイスピードシンクロモードを解除する場合は、もう一度 HSS ボタン **H<sup>z</sup>** を長押ししてください。液晶画面上の黄色い **H<sup>z</sup>** マークは消えます。





※仕様上、最小発光量は 1/32 です。

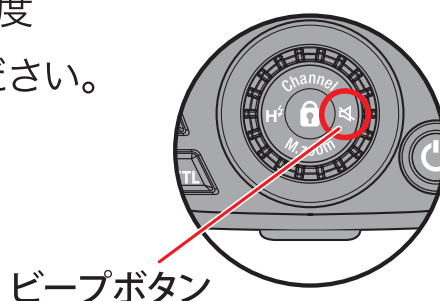
液晶画面上で 1/32 未満に合わせても、シャッターを切ると発光量は自動的に 1/32 に変更されます。

## ビープ音のオン/オフ

初期設定では、Air10s の操作を行うと受信側のストロボが信号を受信したことを知らせるために「ピッ」というビープ音が鳴ります。また、受信側のストロボが充電中の間もずっとビープ音が鳴ります。本機にはこれらのビープ音をオン・オフにする機能があります。

### ビープ音の停止の仕方：

1. 「ビープボタン 」を長押しするとビープ音がオフになります。
2. ビープ音をオンにするときは、もう一度  
「ビープボタン 」を長押ししてください。



## 外部電源用ソケット

ご使用前に外部電源とストロボの両方の電源を必ず落としてください。本機は、外部電源用ソケット（ソニー用）を装備しており、別売のストロボ用外部電源（パワーパック PS-8 ソニー用<sup>※</sup>）を装着することができます。

 外部電源接続中は、MG10本体内の電池も使用しますので、取り外さないでください。

※パワーパック PS-8 本体をお持ちの場合は、  
「ソニー用電源コード」のみ別途お買い求めください。

## ファームウェアのアップデート手順

ファームウェアをアップデートするには下記の手順が必要になります。

### 必要なもの:

- インターネットに接続された Mac または Windows の PC。
- マイクロ SD/SDHC カード (4GB～32GB 推奨) とマイクロ SD カードリーダー。
- (MG10) 新品の単 3 アルカリ電池、フル充電された単 3 ニッケル水素充電池、フル充電された 26650 リチウムイオン充電池の何れか。
- (Air10s) 新品の単 4 アルカリ電池またはフル充電された単 4 ニッケル水素充電池。

### 手順:

1. ファームウェアファイルをダウンロードします。ファームウェアファイルをダウンロードするにはこちらをクリックしてください。  
→ <https://www.nissin-japan.com/product/mg10/>
2. マイクロ SD/SDHC カードをカードリーダーに挿入しコンピューターに接続します。
3. マイクロ SD/SDHC カードを FAT32 フォーマットでフォーマットします。  
(フォーマット前にバックアップを取って下さい)
4. 全てのファームウェアファイルをマイクロ SD/SDHC カードにコピーします。
5. マイクロ SD/SDHC カードをカードリーダーから外します。
6. MG10/Air10s の電源がオフになっていることを確認してください。
7. MG10/Air10s のマイクロ SD カードスロットカバーを取り外し 4. で作成したマイクロ SD/SDHC カードを MG10/Air10s のマイクロ SD カードスロットに挿入します。
8. MG10/Air10s の電源を入れます。MG10/Air10s のマイクロ SD カードスロット内の LED ライトが点滅しライトがオレンジから赤へ変わります。アップデートが終了すれば点滅が止まります。
9. ファームウェアアップデートの手順が完了すると、マイクロ SD カードスロット内の LED ライトが緑色に点灯します。バッテリーを外してマイクロ SD/SDHC カードを取り外します。
10. 電池を入れて MG10/Air10s の電源を入れます。

# 主な仕様

ガイドナンバー	80 (ISO 100・m 照射角 200mm) 47 (ISO 100・m 照射角 35mm)
発光管出力	165Ws (クォーツフラッシュチューブ × 2 本の合計)
カバー焦点距離	24-200mm、ワイドパネル使用時は 18mm
電源	単 3 型電池 8 本 (別売)、または 26650 型 3.7V リチウムイオン充電電池 2 本 (別売)
電池収納方法	専用単 3 電池カートリッジ、または専用リチウムイオン充電電池カートリッジ
最小発光間隔 (フル発光時)	2.8 秒 (リチウムイオン充電電池 2 本使用時) 3.0 秒 (ニッケル水素充電電池 8 本使用時) 1.5 秒 (外部電源 PS 8 とリチウムイオン充電電池 2 本併用時)
発光回数	約 600 回 (5200mAh リチウムイオン充電電池 2 本使用時) 約 200 回 (2200mAh ニッケル水素充電電池 8 本使用時)
発光時間	1/400 秒 ~ 1/20,000 秒
色温度	約 5600K (ズームカバー装着時)
コントロール コマンダー	ニッシン Air10s (Air1 も機能制限付きで使用可能)
設定	チャンネル設定、グループ設定、オープンモードオン/オフ、電源スイッチ
ワイヤレスモード	2.4GHz 電波式ワイヤレス TTL スレーブ (NAS 規格)
光量調整機能 (ワイヤレス)	Air10s から TTL 調光および 1/256 ~ 1/1 光量の範囲内で 1/3EV 刻みで調整可能
光量調整機能 (シンクロコード接続)	1/256 ~ 1/1 光量の範囲内で 1EV 刻みで調光可能
バウンス	上方 90°・下方 7°・左 180°・右 180°
発光モード	TTL、マニュアル、HSS、オープンモード
モデリングランプ	8W 白色 LED、Air10s より 25 段階で調光可能 約 4 時間発光可能 (5000mAh 電池)、加熱保護機能付き
外部電源ソケット	あり (ソニー用)
リモートシャッターリリース	カメラとリモートシャッターケーブル接続もしくは NAS システムによる ワイヤレス接続により MG10 のシャッターボタンで撮影が可能
三脚用ねじ穴	1 箇所 (1 / 4 インチ)
ブラケットマウント	左右どちらでも取付け可能
大きさ	約 210 (H) × 80 (W) × 145 (D) mm
質量	約 975 g (電池除く)

(1) これはあくまでテスト結果なので環境要因の影響を受ける可能性があります。 (2) NAS フラッシュをサポートする新機能になります。

(3) SONY バージョンは除く。

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

Nissin は、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★最新カメラへのファームウェアアップデートサービスやファームウェア対応状況に関するお問い合わせは、ニッシンジャパンホームページをご利用ください。

ニッシンジャパンホームページ: [www.nissin-japan.com](http://www.nissin-japan.com)

Ver. 18120501

## ガイドナンバーテーブル(ISO100・m)

焦点距離 ( )内は フォーサーズ用	パワーレベル								
	Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128	1/256
24(12)mm	38	27	19	13	10	7	5	3	2
28(14)mm	41	29	20	14	10	7	5	4	3
35(17)mm	47	33	23	17	12	8	6	4	3
50(25)mm	56	39	38	20	14	10	7	5	3
70(35)mm	60	42	30	21	15	11	7	5	4
85(42)mm	64	45	32	23	16	11	8	6	4
105(52)mm	69	49	34	24	17	12	9	6	4
135(67)mm	74	52	37	26	18	13	9	6	5
200(100)mm	80	57	40	28	20	14	10	7	5
ズームカバー 取り外し時	28	20	14	10	7	5	3	2	2

# ■ リチウムイオン充電電池の使用について

## ◆ 免責事項

リチウムイオン充電電池は、ニッケル水素充電電池やアルカリ電池等と比べて熱やショート、機械的圧力に対する耐性が低く、発熱、破裂、発火を防ぐため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池を正しく取り扱わなかったり、電池の不具合により機器が故障した場合は、購入した時期に関わらず有償修理となります。同様に電池が発熱、破裂、発火することにより機器の周りの物品に損害を与えたり、怪我をした場合も弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

## ◆ リチウムイオン充電電池の使用環境に関する注意

1. リチウムイオン充電電池を自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の中など、高い温度になる場所に放置しないでください。リチウムイオン電池を漏液させる原因になる恐れがあります。
2. リチウムイオン充電電池をストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。

## ◆ リチウムイオン充電電池の使用に関する注意

1. 使用前に、必ず機器の取り扱い説明書、または注意書きをお読みください。
2. リチウムイオン充電電池を使用する際は、必ず専用のバッテリーホルダーに指定されたサイズの電池を入れてください。スペーサー等を用いたりバッテリーホルダーを改造するなどして指定外の電池を使用すると、異常時に過熱保護機能などが正常に動作せず、電池が発熱、破裂、発火の原因になります。
3. リチウムイオン充電電池は必ず保護回路を内蔵しているものを使用してください。保護回路が付いていない電池を使用すると、特に機器から取り外して持ち運ぶ際にショートなどによる発熱、破裂、発火のリスクが高まります。
4. リチウムイオン充電電池を水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオン充電電池に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
5. リチウムイオン充電電池はその電池に適合した充電器、A Cアダプターを使用してください。適合していない充電器、A Cアダプターで充電すると、充電条件が異なるため、発熱、破裂、発火の原因になります。



6. リチウムイオン充電電池はプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、リチウムイオン充電電池が逆に充電され内部で異常な反応が起こり、リチウムイオン充電電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
7. リチウムイオン充電電池は充電器を介さずに直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に接続しないでください。感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、リチウムイオン充電電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因になります。
8. リチウムイオン充電電池を自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所で充電しないでください。高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
9. リチウムイオン充電電池を火の中に投入したり、ホットプレートなどで過熱しないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。
10. リチウムイオン充電電池のプラス端子とマイナス端子とを金属で接続しないでください。また、リチウムイオン充電電池をネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。リチウムイオン充電電池のプラスとマイナスがこれらの金属によりショートし、過大な電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはこれらの金属などが発熱する原因になります。
11. リチウムイオン充電電池に高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン充電電池が変形したり、リチウムイオン充電電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン充電電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
12. リチウムイオン充電電池に釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン充電電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
13. リチウムイオン充電電池の端子に直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷し、発熱、破裂、発火の原因になります。
14. リチウムイオン充電電池を電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。



15. リチウムイオン充電電池の充電や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。リチウムイオン充電電池を発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
16. リチウムイオン充電電池を分解したり、改造しないでください。リチウムイオン充電電池には危険を防止するためのガス排出弁や保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムイオン充電電池が発熱、破裂、発火する原因になります。
17. リチウムイオン充電電池を長期間使用しない場合は機器から外して湿気の少ないところに保管してください。
18. 使用機器及び電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。不用意な取り扱いは危険を伴います。
19. 乳幼児や動物・ペットには、リチウムイオン充電電池の取り扱い、運搬をさせないでください。(舐める、口に入れる、噛む 等の危険防止)
20. リチウムイオン充電電池には寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しいリチウムイオン充電電池とお取り替えください。
21. 電池の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、機器あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。使用継続の場合は電池が発熱、破裂、発火する原因になります。
22. 電池が漏液したり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

**Nissin** ニッシンジャパン株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北1丁目17番5号 上野ビル2F

ニッシンジャパンのホームページ <http://www.nissin-japan.com>